

学 科 紹 介



学科長

ジョージ・W・ギッシュ

学校法人山梨英和学院 理事長

地域デザイン学部

国際コミュニティ学科

1年次

● 目的・概要

- ・文化人類学のアプローチで日本人とその文化の成り立ちを考えながら、現在の日本列島における国際コミュニティの可能性を考察します。
- ・在住外国人をとりまく現状・課題などを学びます。私たちの地域の文化だけでなく、外国人の異なる文化に対しても理解を深め、地域の中での国際コミュニティづくりや外国人との共生のあり方について考えていきます。

● 講 師

インディラ・バット

(江戸川インド人会 副会長)

侯艶妹

(睦新中文学校 校長)

霜島和子

(区民教授)

宋連玉

(青山学院大学 名誉教授)

田辺邦子

(学校法人深堀学園外語ビジネス専門学校 非常勤講師)ほか

● 曜日・時間 水曜日 14時～16時

※内容や実施日等是一部変更になる場合もあります。

● 1年次の授業計画

テーマ・概要

① 日本人とその文化の成り立ち

世界における日本の位置付けを考察します。

<主なテーマ>

・日本文化史

世界文化史における日本文化の位置付けを考察します。アフリカで誕生した人類が日本列島までたどった遙かな旅を追って、「日本人」とその「文化」の成り立ちや変遷を振り返り、日本人自らの「民族」意識について考えます。

・日本文化史における仏教伝来とその音楽

日本文化史の流れを受け、声明がシルクロードを通して仏教伝来と共に伝わり日本音楽の源流となっていることを学び、その演奏を体感します。

・日本社会とグローバリゼーション

日本文化の歴史的多様性の観点から将来のグローバリゼーションのあり方も踏まえて、江戸川区内の多文化理解と外国人との共生の可能性を考えます。

② 在住外国人の文化と生活の課題から学ぶ

<主なテーマ>

- ・隣国である韓国と日本、両国の文化とふれあい

韓国の生活習慣や社会風俗、文化など幅広い知識を学び、交流を深めていくために必要なことは何かを考えていきます。

- ・ジェンダー(社会的性別)から見た朝鮮史

20世紀の朝鮮半島におけるジェンダーとエスニシティ、及び日本社会における在日韓国・朝鮮人女性の戦後史を考察します。

- ・日本に住む中国の人々の活動について

日本に住む中国の方から生活や教育に関する課題について話を伺いながら、中国人とのかかわり方について考えます。

- ・インド社会及び日本に住むインドの人々

インド固有の習慣、制度から現在の人々の暮らしぶりなどの知識を深めます。また、江戸川区のインド人社会の活動や、講師の体験を通して日本に住むインドの人々の生活や考え方について理解を深めます。

③ フィールドワーク

<主なテーマ>

- ・フィールドワークとは
- ・課題整理作業とワークショップ
- ・フィールドワークの実践

④ ボランティアとして日本語を教えるということ

日本に暮らす外国人にボランティアとして日本語を教えることについて、教える立場からの話を聞き、ワークショップを行います。

⑤ 多文化共生を考える

江戸川区をはじめ日本に移住してきた人々の現状を把握し、国籍や言葉、文化の違いを認め、尊重しあう「多文化共生社会」の必要性を学びます。

<主なテーマ>

- ・国際コミュニティづくりを地域に活かす
- ・フィールド・ディ
- ・インフォーマント・ディ～日本の難民受け入れの現状～
- ・国際ボランティアの最新情報
- ・ボランティア基本的精神

⑥ 学びの発表

入学してからこれまでの感想やフィールドワークの成果を発表します。

⑦ まとめ

この1年間の成果を振り返るとともに、2年目の課題研究に向けてワークショップを行います。

⑧ 大学祭に向けて(単位外)

学びの成果を発表する大学祭への取り組みについて話し合います。(学生のみ)

● 2年次の目的・概要 1年目のフィールドワークをプロジェクトチームへとさらに発展させ、各自が発見した課題についてチームで研究し、その成果を発表します。また、日本語を教えるということを含めボランティア活動に関する講義や、市民活動企画立案力向上のための講義、プロジェクトやイベントなどの企画・実行を通して、実践的な授業を行います。さらに、学びの成果について社会活動体験を通じて検証し、今後の自らの実践活動にどう結びつけていくかを模索しながら、江戸川区から国際コミュニティをどのように培っていくか、知恵を出し合い、考えていきます。